

体表解剖学研究会  
第1回全国研修会 in 愛知

～体表解剖学の発展を目指して～

プログラム・抄録集

会 期：平成22年5月15日（土）・16日（日）

場 所：日本医療福祉専門学校

主 催：体表解剖学研究会

後 援：熊本徒手療法研究会

## ご挨拶

### 体表解剖学研究会第 1 回全国研修会を迎えて

体表解剖学研究会第 1 回全国研修会  
大会長 磯貝 香  
(浜松大学保健医療学部理学療法学科)

「体表解剖学の発展を目指して」のテーマのもと、体表解剖学研究会第 1 回全国研修会を平成 22 年 5 月 15 日（土）・16 日（日）の二日間にわたり、名古屋市の日本医療福祉専門学校で開催する運びとなりました。体表解剖学研究会の記念すべき第 1 回全国研修会の大会長に選出され、非常に光栄に思うとともにその重責に身の引き締まる思いです。

本研究会は、平成 8 年 12 月 27 日に熊本の杉村病院で 3 名の受講者を対象に始められた「筋の触察セミナー」を起源とします。その後、九州、中部、関東、四国の 4 会場でセミナーが開催されるようになった現在に至るまで、骨や筋の詳細な構造を 3 次元的に解明し、かつこれらを体表から正確に触察する方法を発展させてきました。またそれは、セミナーや本研究会の名称も含め、体表解剖学に関する用語の選択に試行錯誤を繰り返す過程でもありました。そこで、この研修会が体表解剖学を取り巻く用語を整理する機会となるよう、大会長による講演「体表解剖に関する用語の理解」で研修会の幕を開けさせていただきます。また第 1 日目には、体表解剖学は臨床のためにあるという原点に立ち戻り、初回セミナー受講者の 3 名のうちの一人である福田猛先生を始め、祝広孝先生、溝田丈士先生の 3 名の先生方をお迎えし、体表解剖学と臨床との接点を再考するシンポジウムが開催されます。研修会第 2 日目には、今後本研究会が開催するセミナーに含まれてくるであろう、手部、足部および頸部の筋の解剖学講義と触察実習が行われます。これは、全国に散らばる会員の技術の統一に結び付く非常に重要な機会と考えております。

会員同士の交流を深めるよい機会でもあります。日本理学療法学会大会に先立ってここミッドランドエリアで開催される本研修会に、一人でも多くの会員の皆様に参加していただけますよう心よりお待ち申し上げるとともに、この研修会を機会に体表解剖学研究会がますます発展していくことを願って止みません。

## プログラム

5月15日(土) 1日目

12:30	理事会	会場：5F 控室
14:50		
15:00	開会式	
15:10	講演 司会：菅原 仁	「体表解剖に関する用語の理解」 講師：磯貝 香先生
15:40	会場：5F 講堂	
	休憩	
15:50	シンポジウム 「〇〇〇〇を体表解剖学で斬る！」 司会：河上敬介 会場：5F 講堂	「理学療法を触察で斬る！」 シンポジスト： 帝京大学福岡医療技術学部 福田猛先生
16:10		「手技療法を体表解剖学で斬る！」 シンポジスト： 曾我病院 祝 広孝先生
16:30		「整形外科疾患における理学療法を体表解剖学で斬る！」 — 腱板断裂の評価・治療における体表解剖学の実践 — シンポジスト： 副島整形外科クリニック 溝田 丈士先生
16:50		総括
17:30		

17:30～ 総会

19:00～ 懇親会：名鉄ニューグランドホテル 扇の間

5月16日(日) 2日目

9:00	解剖講義・実習 会場：5F 講堂	手の筋
10:30		足の筋
12:00		昼食
13:00		頸部の筋
16:00	閉会式 次期大会長挨拶	